

■ 指定管理者制度導入施設 年度評価シート ■

評価年度

令和5年度

1 基本情報

公の施設名	相模原市立市民健康文化センター
指定管理者名	市民健康文化センター運営共同企業体(公益財団法人相模原市まち・みどり公社、株式会社明治スポーツプラザ)
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
施設設置条例	相模原市立市民健康文化センター条例
施設の設置目的	市民の健康保持及び増進並びに文化及び福祉の向上に寄与するため (相模原市立市民健康文化センター条例第2条)
施設概要	・所在地 南区麻溝台1872-1 ・敷地面積 7,987.76㎡・建物面積 4,080.63㎡・延床面積 6191.22㎡ ・構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨(地下1階 地上2階) 1階 プール、浴室、多目的広場、多目的会議室1、カフェ 2階 多目的会議室2、茶室、講習室1・2・3、工作室(陶芸窯)、展示コーナー
施設所管課	市民局 市民協働推進課

2 管理実績

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数合計(人)	324,672	333,085	292,998	83,399	147,733	205,863	223,696
利用料金合計(円)	50,027,328	52,344,856	47,164,171	14,533,689	28,588,160	41,145,825	45,016,418

3 成果指標の達成度

評価(5評価)	評価理由・委員会意見
A	<p>2指標の平均達成度は目標値の102.9%となるため、A評価とする。</p> <p>【指標1：プールの利用人数】 達成度は72%と前年度に引き続き目標値を下回ったが、利用者は前年度から約1万人増加しており、コロナ禍を経た回復傾向が持続している。特に、令和5年10月の市内在住・在学の子どもの料金の無料化により、令和5年度10月～3月の6か月間の子どもの利用者は、令和4年度10月～3月の6か月間と比較して10%弱程度増加しており、プール利用者の回復に寄与しているものと思われる。</p> <p>【指標2：自主事業の参加人数】 前年度と比較して約10ポイント増加し、指定管理期間中で最高となった。コロナ禍からの回復により、水泳教室を中心に大きく参加者を伸ばしたほか、スカイウエルの設置継続などにより、利用が堅調であったものと思われる。</p>

※令和2年度及び令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴う施設休止の影響を考慮し、施設の開所日数や利用制限を踏まえ、目標値を修正した(令和2年度及び令和3年度における目標値の()内の数値は修正前の目標値)

指標1

指標名(単位)	プールの利用者数(人)
指標式と指標の説明	実績値(人)/目標値(人)×100

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(人)	115,000	117,000	131,000	22,944 (132,000)	68,757 (133,000)	134,000	135,000
実績値(人)	129,926	137,955	125,792	31,287	60,451	87,070	97,149
達成度(%)	113.0%	117.9%	96.0%	136.4%	87.9%	65.0%	72.0%

指標2	
指標名(単位)	自主事業の参加人数(人)
指標式と指標の説明	実績値(人)/目標値(人)×100

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(人)	16,800	17,000	26,500	4,417 (26,500)	13,515 (26,500)	26,500	26,500
実績値(人)	25,989	29,662	28,252	3,583	14,368	32,806	35,430
達成度(%)	154.7%	174.5%	106.6%	81.1%	106.3%	123.8%	133.7%

4 事業の実施状況

評価(5評価)	評価理由・委員会意見
A	<p>【健康増進のための空間づくりの事業】⇒○ 参加予定人数に届かない事業が多くあったが、教室参加者の回復を見込み、前年度から定員などを増やすことで、受け入れ態勢を整えた点が評価できる。特に、初心者水泳教室などでは、増やした定員を上回る参加者がおり、そのニーズの高さがうかがえる。今後も利用者の新規獲得と定着、収入の確保などを目指し、事業の充実を図ってほしい。</p> <p>【文化の醸成・創造活動へのサポートの事業】⇒△ 前年度から事業数、参加者数ともに減少しており、効果的な事業実施の点において課題を残した印象がある。一方で、新たに相模原市eスポーツ協会と連携したイベントを開催するなど、近年の社会的動向をとらえた意欲的な事業にも取り組んだ点は評価できる。</p> <p>【地域の魅力・ふれあいづくりへの貢献の事業】⇒◎ 代表的な集客イベントである「健文祭」において、新たにキッチンカーの誘致などを行い、飲食店が少ないエリアという課題の解決や、さらなる施設の活性化に向けた取組を行った点を評価する。また、近隣小中学生を対象にした施設見学や職場体験の受入れのほか、空き室の自習室としての開放など、若年層に対する施設への愛着や魅力向上に向けた取組も新たに行ったことを評価したい。</p>

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
(なし)			

企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
(なし)			

自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
健康増進のための空間づくりの事業	4月～3月	プール教室や体操教室等の事業(39事業)	○
文化の醸成・創造活動へのサポートの事業	4月～3月	装飾品の製作教室等の事業(8事業)	△
地域の魅力・ふれあいづくりへの貢献の事業	4月～3月	ふれあい広場を活用した作品展示や近隣施設と連携したスタンプラリー等の事業(23事業)	◎

5 利用者の満足度

評価(5評価)	評価理由・委員会意見
A	4年ぶりに目標値を達成するとともに、指定管理期間内で最高値となったことから、利用者のニーズに沿った運営がされたと評価できる。利用者意見から把握したニーズを新規事業として具現化したことを評価する。

利用者満足度調査	
調査手法/サンプル数	利用者へのアンケート調査を実施(607件)(令和5年7月～8月)
目標値の基準	利用者満足度の設問に対する「満足」と「やや満足」の合計の割合

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(%)	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
実績値(%)	83.2	91.6	90.8	69.9	87.9	89.0	94.3
達成度(%)	92.4%	101.8%	100.9%	77.7%	97.7%	98.9%	104.8%

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
意見箱の設置	通年	館内ご意見箱を設置し、センターに関する意見を記入していただく。月ごとにまとめ回答を作成し、同場所に回答書を設置。
教室アンケートの実施	文化事業開催時	参加教室に関するアンケートを実施。(文化教室のみ)教室終了時に回収。

6 施設の経営状況

評価(5評価)	評価理由・委員会意見
C	本体事業収支及び全体収支が赤字であり、団体の経営状況についても若干の懸念があるため、C評価とする。一方で、プール利用者や自主事業収入の増加による収入の増額に対して、支出額はほぼ前年度並みに抑えられた。その結果、全体収支は900万円近く改善していることから、経営努力は一定程度認められると考える。

施設の収支概要		※直近3年間について記載 (千円)		
項目		令和3年度	令和4年度	令和5年度
収入 (a)		205,702	196,153	199,719
	指定管理料	147,779	147,808	144,982
	利用料金収入	28,588	41,145	47,237
	その他の収入	29,335	7,200	7,500
支出 (b)		212,155	239,934	239,487
	人件費	96,995	105,987	107,027
	本社管理経費	8,781	8,879	8,609
	その他の支出	106,379	125,068	123,851
本体事業収支 [(a)-(b)](c)		-6,453	-43,781	-39,768
自主事業収入 (d)		15,051	23,268	26,787
自主事業支出 (e)		3,521	5,775	5,840
自主事業収支 [(d)-(e)](f)		11,530	17,493	20,947
全体収支 [(c)+(f)]		5,077	-26,288	-18,821
備考	令和5年度の収入(a)のうち、「その他収入」は令和4年度分損失補償1,357千円を除く			

団体の財務状況	団体本体の経営状況について若干の懸念がある。
---------	------------------------

7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング・現地確認により検査を実施	
実施時期	令和5年7月	
検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	×
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	×
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	×
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	×
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	○
その他取り組んでいること	

9 指定管理者の自己評価

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着いてきたことから、前年度と比べて施設の利用者数は回復傾向にあったが、成果指標のプール利用者数は目標値に対して71.9%の達成率となった。一方、自主事業の参加人数は、前年度から10%増加となるなど、順調に推移しており、成果指標の目標値に対して133.6%の達成率となる35,430人となった。これは、当企業体が本施設の指定管理者となってから過去最高の人数となる。

成果指標の目標値ではないが、自習室の無料開放も認知度の高まりとともに利用者が増加し、年間で1,816人の方にご利用いただき、大変喜ばれる自主事業となった。

また、貸室の利用状況においても、ダンスサークルやコスプレイベント会社による利用が順調に推移しており、とりわけ、茶室の稼働率は前年度5%から9.7%まで上昇させることができた。これらによって夜間の時間帯や若年層の利用促進という施設としての課題の改善も進みつつあると考えている。

さらに、キャッシュレス決済の利用金額も年間で115万円を超え、貸室利用料金における支払総額の約20%を占める実績となった。その他、カップ麺の販売も老若男女問わず好評をいただき、売上金額10万5千円、868個の販売実績となり、新たな収益事業として展開が図れた。改めて、令和5年度を総括した場合、プール利用者数は思うような実績が残せなかったが、利用者が求めるサービスを適切に提供するなど、指定管理者として実施可能な事業について積極的に展開が図れたものと考えている。

10 所管課意見

・プール利用者数は目標値に届かなかったものの、指定管理期間中で初めて行動制限が無かった1年であり、利用者動向の見極めも難しかったと思われるが、ニーズなどを上手く捉えながら運営できたものと評価できる。

・eスポーツなど施設の特性を活かした新たなイベントの開催を通じて、認知度の向上や賑わいづくりなどの利用促進に向けた取組を行った。軽食施設の充実などの利用者からの意見を反映し、キッチンカーの誘致といった利便性向上にも努めた点を評価したい。

・利用者満足度は現指定管理期間で最も高くなり、利用者に対し適切なサービスが提供されているものと思われる。プール利用について高い利用者満足度を維持していることは、施設の設置目的や利用者の期待に沿って適切に運営ができたものと考えられる。

11 選考委員会意見

コロナ禍や原油価格・物価高騰の影響で、市民の生活形態やニーズも大きく変化する中で、以前からの課題である若年層や夜間の施設利用について、ダンスサークルやコスプレ団体などの新たなニーズを掘り起こし、施設のコンセプトも踏まえつつ柔軟かつ積極的に対応したことを高く評価する。利用者意見から把握したニーズを新規事業として具現化し、現運営においても継続しているなど、今後の運営の根本を形作ったことを評価する。

総合評価(自動判定)

B

(65/100)

